

【①地産の強化、③拡大再生産策の強化（地域産業クラスターを形成）】

○ 戦略の柱：4 木材需要の拡大

【戦略の方向性】低層非住宅の木造化等により飛躍的な需要拡大を図る。

【現状と見えてきた課題】

- ・新製品の開発においては、特殊サイズによらず市場に流通する一般の製材品や接合金物を活用し、資材単価を抑制することが必要
- ・施工実績のない製品の販売を促進するためには、施主や建築士に事例集等を活用して周知を図るとともに、モデル施設の整備による実績づくりが必要
- ・他工法と比較し、木造化の有利性を示すためには、材料のコストダウンを進める一方で、施工を含めたトータルコストを把握することが必要
- ・SWP（シングルウッドパネル）など、新たに開発された商品については、普及のための支援が必要

強化のポイント



◆ 本県で開発された木質建材を活用したモデル建築物の普及・拡大

（強化の方向性）

- 新製品を活用した「モデル施設」を支援することにより、SWPを含む新たな製品の認知度向上を図り、木材の需要を拡大する
- 併せて、モデル施設の整備を通じて、施工人役の確認や、施工方法の検証（施工手順や施工者からの意見聴取など）し、トータルコストの把握とともに、必要に応じて製品の改良を行う